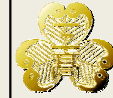


平成30年5月30日
教育課程部会
児童生徒の学習評価に関する
ワーキンググループ
資料5



川越工高

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ

現行高等学校学習指導要領における 学習評価の実践例



埼玉県立川越工業高等学校
清水雅己
平成30年5月30日(水)



埼玉県マスコット「コバトン」

■ 工業科の目標

工業の各分野に関する**基礎的・基本的な知識と技術**を習得させ、現代社会における**工業の意義や役割**を理解させるとともに、**環境及びエネルギー**に配慮しつつ、工業技術の諸問題を**主体的、合理的**に、かつ**倫理観**をもって解決し、工業と社会の発展を図る**創造的な能力と実践的な態度**を育てる。

① 基礎的・基本的な知識と技術を習得

② 工業の意義や役割の理解

③ 環境やエネルギーへの配慮

工業技術の諸問題を主体的、合理的及び倫理観をもって解決

④ 工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度の育成



■ 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 工業に関する各学科においては、「**工業技術基礎**」及び「**課題研究**」を原則として**全ての生徒に履修させること**。
- (2) 工業に関する各学科においては、原則として工業科に属する科目に配当する**総授業時数の10分の5以上を実験・実習に配当すること**。



■ 原則履修科目「工業技術基礎」

《目標》

工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各専門分野における**技術への興味・関心**を高め、**工業の意義や役割を理解**させるとともに、工業に関する広い視野と倫理観をもって**工業の発展を図る意欲的な態度**を育てる。

《内容》

(1) 人と技術と環境

ア 人と技術

イ 技術者の使命と責任

ウ 環境と技術

(2) 基礎的な加工技術

ア 形態を変化させる加工

イ 質を変化させる加工

(3) 基礎的な生産技術

ア 生産の流れと技術

イ 基礎的な分析及び測定技術



■ 建築科における実践例① 授業に入る前に

《 授業に臨む心得を明確にする 》

① 安全第一

- ・ 安全より優先される事項はありません。道具や工具などの特徴や使用方法を理解しないまま使用することは大変危険であり絶対にあってはならないことです。
- ・ 「5S」を意識して授業に臨んでください。

② ものづくり

- ・ 作品は発注者(利用者)の立場に立って誠意をもって丁寧に製作してください。
- ・ 道具や工具などの取り扱い方法を身に付け、どのような手順で行えば正確で、効率よく作業ができるかを常に考えながら行動しましょう。

③ 対話・協力

- ・ グループで作業することが多くあります。自分の考えを上手に伝えられるよう、また、人の考えをしっかりと聞き、協力しながら作業を進めることが大切です。



■ 建築科における実践例②

単元に入る前に

《 単元の目標を明確にする 》

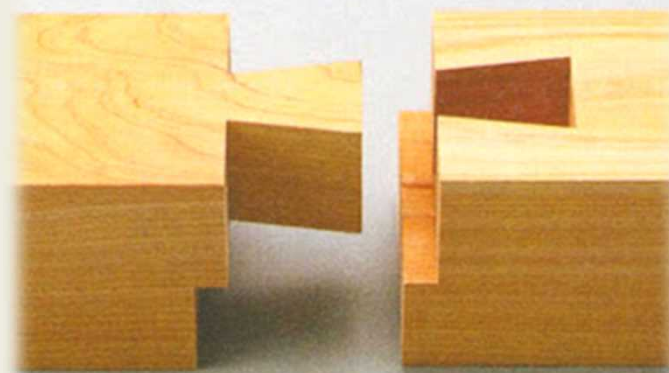
単元:木工(基本的な木材加工), 対象人数:10人

○ 何ができるようになるのか

- ・ 安全な作業を意識し実践できる。
- ・ 道具や木材の名称, 特徴を理解する。
- ・ 正しい道具の使用法を身に付ける。
- ・ 木材を適切に加工できる。

○ 何を学ぶのか

- ・ 安全な作業法
- ・ 道具の使用法
(さしがね, のこぎり, げんのう, のみ)
- ・ 木材の加工法



腰掛け蟻継ぎ

■ 建築科における実践例③

単元に入る前に

《 単元の評価規準を明確にする 》

単元：木工(基本的な木材加工), 対象人数：10人

○ 何を評価するのか

【関心・意欲・態度】

- ・ 正確で効率的な作業を目指しているか
 - ・ 安全を意識し作業しているか
- (学習活動の観察(作業に向かう姿勢等), ワークシート)

【技能】

- ・ 道具を正しく使っているか
 - ・ 木材を適切に加工しているか
- (学習活動の観察(適切な加工), 確認プリント)

【思考・判断・表現】

- ・ 対話・協力しながら創造的な作業をしているか
 - ・ 課題を適切に判断し,
誠意ある丁寧な作品になっているか
- (学習活動の観察(作業の工夫等), ワークシート)

【知識・理解】

- ・ 道具や木材の名称,
特徴, 使用方法を理解しているか
- (報告書, 確認プリント)

※ 各評価規準に対し、A(十分満足)、B(概ね満足)、C(要努力)で評価する。



■ 評価を行うに当たって

教員：授業改善

生徒：自己理解

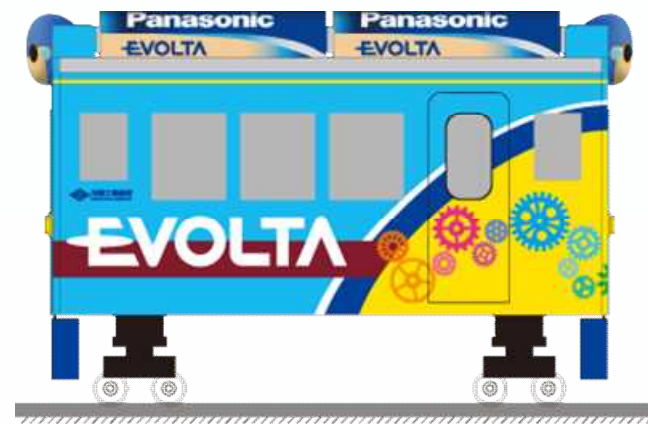
- 生徒にどのような力が身に付いたか
創造的な作業, 安全を意識した行動, 道具などの基本的な使用方法など
- 生徒の学びに向かう意欲が高まったか
ものづくりへの意欲(もっと知りたい, もっと上手になりたいなど)

- ※ ランク付けをすることが目的ではないこと
- ※ 評価規準を細かくし過ぎないようにすること
- ※ 評価の規準は「B」とすること

ご清聴ありがとうございました！



埼玉県マスコット「コバトン」



川工電鉄「エボルタ電車」